

平成27年度事業報告書

1 基本方針

(1) 自然環境保全及び活用

名古屋市民御岳休暇村（以下「休暇村」という。）は、御嶽山の麓、自然環境に恵まれ、市民生活を支える水源の木曾川上流域に位置しています。

この市民の貴重な財産である広大な自然を保護し活用を図りながら地元と協働して事業を進めました。

(2) 自然体験や環境学習主体の事業運営

豊かな自然を活用した体験事業や環境学習プログラムを通じて、市民が自然に親しむことにより、心身のリフレッシュや健康増進を図るとともに青少年の健全育成を図りました。

(3) 利用促進と効率的な経営

自然体験企画等の充実及び効果的な広報の実施により利用促進に努めるとともに、業務委託の導入等により経費の削減を図り効率的な経営を行いました。

2 事業の実施状況

(1) 公益目的事業

近年、環境に対する関心は非常に高くなり、また余暇に対する考え方や価値観も大きく変化しているなか、公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社（以下「公社」という。）では、恵まれた自然環境を活用し、休暇村を利用された方々に対して自然体験や環境学習など様々な事業を提供しました。

ア 自然体験事業

休暇村敷地内のヒノキやカラマツなど50ヘクタールに及ぶ人工林の間伐・枝打ち・広葉樹の植樹などの森林整備を地域や下流域の市民と協働で進める「市民の森づくり事業」を実施したほか、国・長野県の補助事業を活用して設置した「王滝百草の森」の整備を地元王滝村の協力を得て進めるとともに、水資源涵養や地球温暖化防止(CO₂削減)、生物多様性など森林が果たす機能と重要性について学ぶことができる森林体験学習を行いました。「市民の森づくり事業」では、名古屋市副市長、王滝村村長の出席により植樹祭を開催しました。

また、地元王滝村の協力を得て、森林鉄道を活用した事業を行ったほか、遊休農地を利用した農業体験や木曾地域に昔から伝わる食べ物をはじめ伝統文化の体験事業を実施しました。

イ 青少年健全育成事業

小・中学生を始め青少年が自然の中での集団生活や自然体験活動を通じて、思いやりや生命の大切さ、感謝の気持ちなど「生きる力」を支える「豊かな心」

を育成することを目的とした青少年の健全育成事業を、大学生のボランティア「キャンプカウンセラー」や「NPO法人ONTAKE」とともに進めました。

ウ 健康増進支援事業

森林浴や高地ウォーキング、温泉療養、薬膳料理の提供など休暇村の豊かな自然環境を活用したプログラムの提供により市民の健康増進の支援を行いました。

(2) 収益事業

ア 施設貸与及び飲食販売事業

名古屋市から遠く離れた休暇村で行われる様々な体験活動等に参加するには宿泊が必要不可欠であるため、宿泊に伴う施設貸与や飲食提供を行うとともに土産物などの販売を行いました。

イ 旅客自動車運送事業

交通アクセスがよくない休暇村利用において、自家用自動車を持たない人や高齢者が体験活動に参加いただけるよう貸切バスによる名古屋・休暇村間の送迎を行いました。

3 利用状況

平成27年度は、耐震等改修工事のため4月6日から7月17日までセントラル・ロッジを約3ヶ月半休館しておりましたが、休館期間中は、キャンプ場利用による主催事業を実施しました。また、営業再開後は、セントラル・ロッジ利用による主催事業を充実したことなどにより、平成27年度に環境保全活動や自然体験活動に参加された方は、延べ25,610人で、前年度に比較し2,696人の減少に留まりました。事業参加者の内訳は、植樹・下草刈りなどの森づくりや森林学習、昆虫観察や登山、農業体験などの自然体験事業参加者1,562人、小中学生の野外活動など青少年健全育成事業参加者4,238人、ウォーキングや森林浴、温泉浴などの健康増進支援事業参加者1,764人、食の体験館、木工体験館、天文館やクライミング施設などの利用者8,650人で、公社主催事業の延べ参加人員は16,214人でした。

これら主催事業のほか、キャンプ技術や野外活動、登山、自然体験学習など公社からの支援を受けられた方は9,396人でした。なお、休暇村利用者のうちセントラル・ロッジ及びキャンプ場の宿泊者は14,218人で、前年度に比較し3,492人の減少でした。なお、セントラル・ロッジの宿泊者は9,611人で、休館期間中を除いた前年度同時期の比較では406人の増加でした。この増加の要因としては、セントラル・ロッジ休館中を始め、積極的な広報活動を行ったことによる効果が考えられること、また、前年度の御嶽山噴火による入山規制で、2月下旬まで営業を見合わせた

おんたけ2240スキー場が、今年度暖冬で雪不足の影響はあったものの、12月から営業できたことなどが挙げられます。

旅客自動車運送事業による貸切バスの輸送実績は、83回、3,793人で、セントラル・ロッジ休館により輸送回数は前年度に比較し27回減少したものの、営業再開後の秋の企画ツアー参加者が多くあったため、前年度に比較し1,544人の増加でした。

なお、平成26年8月から開始した旅行業の取扱実績は、平成27年度84件、1,431人でした。

4 事業参加者促進への取組

(1) 広報・PR

ア 名古屋市の協力を得て、東山動植物園春まつりなど市内で開催されたイベントに出展参加しました。

イ マスコミなどを通じての広報宣伝を行いました。（広報なごや、新聞、旅行誌などへの事業プランの案内や施設紹介などの記事提供）

ウ 事業案内パンフレットの名古屋市内町内会組回覧及び各区役所等情報コーナーへの掲出を行いました。

エ 市内各種団体に対して訪問営業活動を行いました。（事業案内や保養所契約を締結した団体への積極的な利用促進依頼）

オ ホームページを活用した事業案内の発信を行いました。

カ 新たにフェイスブックを活用した情報発信を開始しました。

キ セントラル・ロッジ耐震等改修工事にともなう休館期間中に、名古屋市民に向けたPRを重点的に行いました。（別掲）

ク 名古屋・栄ナディアパークにて名古屋市及び王滝村・王滝観光総合事務所と共同でスキーシーズンに向けて観光PRイベントを開催しました。次年度以降も継続して実施する予定です。（11月28,29日実施。来場者1,500名、新聞、テレビなどによる報道あり。）

(2) 事業の充実等

ア 貸切バス経営のメリットを生かした名古屋・休暇村間送迎の体験企画メニューを充実しました。

イ 森林浴や温泉浴、高地効果や転地効果など休暇村の特異な立地条件を活用した滞在型の健康増進支援事業を行いました。

ウ 自然環境や文化・歴史等を対象にした体験企画は、地元の有識者や技術継承者、農林業経験者などの協力を得て、参加者の満足度を一層高めました。

エ 市民ニーズの多面的な把握など組織的なマーケティング活動を行いました。

5 事業利用施設の整備

- (1) 木材チップを敷くことで足腰への負担が軽減できる遊歩道整備など、高齢者や障害者も安心して自然体験ができる休暇村づくりを進めました。
- (2) 森林浴や温泉浴による「憩いと癒し」を体感できる宿泊型体験施設として、利用向上に向けた施設整備を進めました。
- (3) セントラル・ロッジの工事休館期間中に、村内環境整備を重点的に実施しました。（別掲）

6 地域への貢献、連携

名古屋市から離れた地にある休暇村で様々な事業を展開するには、王滝村を始め地元の協力が不可欠であるため、地元で行われる各種行事や奉仕活動への積極的な参加、観光振興イベントへの協力を行うなど地域との信頼関係の構築に努めました。

- (1) 王滝観光総合事務所やスキー場などが行う観光振興イベントへの参加協力
- (2) 地域の自然や歴史、文化、産業などの積極的な紹介と体験プログラム等の実施による相互交流
- (3) 地域の環境保全・整備事業への参加協力
- (4) 地域の奉仕活動への参加協力

7 環境保全への取組

市民の貴重な財産である休暇村の広大な自然を保護するなど環境保全に努めました。

- (1) 長野県林業総合センターや森林管理署などの技術指導や林業経験者の協力を得て、間伐・植樹・下草刈り・炭焼きなどを行う市民の森づくり事業の実施
- (2) 信州・省エネパトロール隊の提言に基づく、省エネ、温室効果ガスの削減など環境改善への取組み
- (3) 廃棄物の発生抑制（リデュース）とリサイクルの推進

8 安全対策

(1) 施設の保全

ア 建物・機械設備などは、保守点検及び法定点検のほか日常点検を欠かさずに行い、性能の維持管理に努めるとともに利用者の安全確保に努めました。

イ 道路、遊歩道、橋梁、駐車場のほか村内敷地の日常点検を行い、適正かつ安全な状態を維持しました。

(2) 事故、災害対策

ア 公社防災対策委員会・自衛消防組織による火災等災害の予防、防災設備の

改善計画策定及び防災意識の高揚と啓発活動を実施しました。

イ 危機管理マニュアルに基づき、事故や盗難、破壊等犯罪の発生の警戒、防止及び日常の保安警備を実施しました。

ウ ノロウイルスなどによる感染症や食中毒防止、レジオネラ属菌対策など衛生管理を徹底しました。

エ 自動車事故防止のため、車両の日常点検の実施と運行管理者及び整備管理者による安全な運行管理を行いました。

オ 熊や猪などによる事故の未然防止を講じました。

(3) 個人情報の保護

公社が保有する情報に対して保護対策が十分か定期的に点検し、適切な保護対策を講じました。

ア 個人情報に対する取扱いや職員の責務についての意識向上を図りました。

イ 個人情報が記載されている文書は、盗難、災害等による情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するため厳格な管理をしました。

ウ 電子情報に対しては、人的情報保護対策及び技術的情報保護対策を講じ、情報の漏えい、滅失又は、き損を防止するとともに、ネットワークや情報システム、コンピューターへの不正なソフトウェアの侵入、感染又は、不正なアクセス行為を防止するための措置を講じました。

9 職員の資質向上

(1) 市民が自然の中で行う様々な体験活動や森林・温泉などの自然環境を活用した健康増進の支援を行うため、指導に必要な各種資格等の取得に努めるとともに知識・技術の向上研修や業務研修を実施しました。

(2) 市民生活を支える水源の木曾川上流域に位置する休暇村の自然環境を保護するため、森林整備や自然環境保全の知識や技術の修得、向上研修を実施しました。

10 御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組

昨年9月に王滝口登山道の入山可能地域は7合目、田の原天然公園の遥拝所まで緩和され、気象庁が噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き下げ、入山規制を山頂火口から1kmの範囲に縮小したものの、依然として山頂までは入れない状況が続いています。今年に入り、王滝口登山道について7合目から先の入山可能地域の緩和の動きはありますが、山頂までは入れない状況はしばらく続くものと考えられています。今後も名古屋市や関係各団体の協力を得ながら、また、地元とも連携して集客に努めていきます。

11 セントラル・ロジック休館期間中の業務内容

(1) 広報・PR

ア 作品展「木曾・おんたけ風景あれこれ」の開催

(公財)名古屋市文化振興事業団の協力により、6月2日から7日まで、市民ギャラリー矢田で、休暇村企画事業「木曾路&乗鞍高原ぶらりスケッチ」などのスケッチや写真を展示する展覧会を開催しました。来場者の方々に王滝村や休暇村の魅力を紹介するとともに、安心安全に訪れていただけることをPRしました。企画事業に参加されたお客様から80点の作品を出品いただき、期間中712人にお越しいただき好評でした。また、地元の新聞やテレビでも取り上げられました。今後継続して開催することを検討しています。

イ エコパルなごや（名古屋市環境学習センター）と共催による模擬自然体験イベントの開催

6月28日に、名古屋市科学館において木工体験を実施し、休暇村のPRを行いました。約150人の参加がありました。

ウ 東山動植物園での出展PR

名古屋市の協力を得て、東山動植物園春まつりへ出展し、木工体験を実施し、休暇村のPRを行いました。

エ 名古屋市内各学区を通じたPR

事業案内パンフレットの町内会組回覧及び各区役所情報コーナーへの掲出を行いました。また、区役所から依頼のあった場合は、区政協力委員長会においてPRを実施しました。

そして、特に関心の高い学区へは、要望に応じて個別に学区委員会でのPRを実施しました（12学区）。中川区荒子学区の委員会でPRを実施した際に「にっぽんど真ん中まつり」中川会場での休暇村PRの要請を受けたことから、8月30日にPRブース出展によるPRが実現しました。

オ オアシス21iセンター（名古屋栄）におけるPR

名古屋市及び（公財）名古屋観光コンベンションビューローの協力を得て、市内中心地の栄で観光案内等の情報提供を行っているオアシス21iセンターにおいて、休館期間中月曜日を除く毎日1名が常駐し、専用デスクを設けて施設や企画ツアーなどの説明を行うとともに休暇村へ安心安全に訪れていただけることを紹介しました。PRの様子が地元の新聞に取り上げられました。また、セントラル・ロジック営業再開後もオアシス21iセンターには休暇村パンフレッ

トコーナーが設置されています。デスク来場者は980人、そのうち86人に詳しく説明しました。

カ 名古屋市長定例記者会見

7月6日名古屋市長定例記者会見に、王滝村村長、公社理事長が同席し、セントラル・ロッジ改装オープンをPRするとともに休暇村及び王滝村の魅力を紹介しました。地元の新聞やテレビで取り上げられました。

キ セントラル・ロッジ再オープンを契機とした名古屋市広報番組等でのPR

市広報テレビ番組「おもてなし隊なごや」で休暇村が取り上げられ、そば打ち体験、天文館、天然温泉が紹介されたほか、王滝村の観光魅力として、おんたけ湖カヌーツーリングなどが紹介されました。（7月29日放送）

市広報ラジオ番組「名古屋市インフォメーション」では、そば打ち体験、天文館などが紹介されました。（7月13、15、17日放送）

中日新聞市民版の市政紹介コラム「伸びる名古屋」では、そば打ち体験、木工体験、天文館などが紹介されました。（7月12日掲載）

ク 名古屋市広報誌等掲載

「広報なごや」6月号で休暇村特集が生まれ、第1面でセントラル・ロッジ改装オープンの紹介及び名古屋市長、王滝村村長、公社理事長の対談記事が掲載されました。

また、名古屋市ホームページのトップページ「名古屋市からのお知らせ」において7月の1ヶ月間、「セントラル・ロッジ改装オープン」が紹介されました。

ケ 愛知県キャンプ協会主催「キャンプアカデミー2015」参加

5月10日に名城大学名駅サテライト多目的室にて開催され、公社理事長・事務局長が「2014年御嶽山噴火の状況と救助活動・復興」をテーマに講演を行いました。

(2) 施設整備

セントラル・ロッジ休館期間を活用して、日頃はなかなか手を付けることができない、村内遊歩道の整備に加え、電気柵補修及び周囲の草刈り、風倒木の片付け、あずまやの補修などを実施しました。

また、キャンプ場は、6月からの営業開始と7、8月の繁忙期の対応に向けて場内の整備を行いました。

ア 遊歩道等整備（草刈、砂利敷、間伐材を利用した階段及び橋梁補修）

・りんどうの小道 1,369m

- ・せせらぎの小道 275m
- ・かたらいの小道 1,350m
- ・すずらんの小道 908m
- ・こもれびの小道 611m
- ・風倒木の片付け 100本
- ・あずま屋補修 2棟（柱取替）
- ・駐車場階段補修及び塗装
- ・葉草園整備

イ キャンプ場

- ・カラマツ間伐及び運搬
- ・倒木運搬 30本

(3) キャンプ場での企画事業

セントラル・ロッジ休館期間中にキャンプ場宿泊の企画事業を実施しました。

自然体験事業 4回 52人

- | | | | |
|-------------------|--------|------|-----|
| ・大人のキャンプファイヤー | 7月 9日 | 1泊2日 | 15名 |
| ・旬菜ピザ&山菜採り | 6月 6日 | 〃 | 18名 |
| ・自炊キャンプ&軽登山 (小秀山) | 7月 1日 | 〃 | 5名 |
| 〃 (八ヶ岳) | 6月 15日 | 2泊3日 | 14名 |

健康増進支援事業 1回 10人

- ・霧ヶ峰ウォーキング&おんたけ湖カヌー体験
- | | | | |
|--|--------|------|-----|
| | 6月 28日 | 1泊2日 | 10名 |
|--|--------|------|-----|

青少年健全育成事業 3回 48名

- ・親子キャンプ（親子クッキングとして実施）
 - ・親子クッキング（通常のキャンプ場業務）
- | | | | |
|--|--------|------|-----|
| | 6月 27日 | 1泊2日 | 10名 |
| | 7月 4日 | 〃 | 8名 |
| | 7月 11日 | 〃 | 30名 |

(4) 共催事業

「未来世紀へつなぐ緑のバトン」共催事業

6月7日に王滝村と公社との共催で王滝村で「未来世紀へつなぐ緑のバトン」を実施しました。王滝村松原スポーツ公園で開催され、木工体験を実施しました。250人の参加がありました。

松原スポーツ公園で開催された「水と緑の感謝祭」において、木工体験を実施し、休暇村のPRを行いました。

12 評議員会の開催

平成27年度の評議員会は次のとおりで、各議案とも原案どおり決議され、または承認されました。

- (1) 日 時 平成27年5月29日
- (2) 議 案 平成26年度事業報告及び決算の承認について
〃 理事の選任について
- 報告事項 平成26年度補正収支予算（第2回）について
〃 平成27年度事業計画及び収支予算について

13 理事会の開催

平成27年度の理事会は次のとおりで、各議案とも原案どおり決議され、または承認されました。

- (1) 日 時 平成27年5月14日
- 議 案 平成26年度事業報告及び決算の承認について
〃 指定正味財産（寄附金）の取崩について
〃 平成27年度定時評議員会の招集について
- 報告事項 定款第28条第4項に定める理事の職務の執行状況について
- (2) 日 時 平成27年5月30日 （定款第41条第2項に基づくみなし決議）
- 議 案 代表理事の選定について
- (3) 日 時 平成27年6月30日 （定款第41条第2項に基づくみなし決議）
- 議 案 平成27年度補正収支予算について
- (4) 日 時 平成27年7月20日 （定款第41条第2項に基づくみなし決議）
- 議 案 平成27年度常勤役員の報酬月額について
- (5) 日 時 平成27年11月18日
- 議 案 平成27年度補正収支予算（第2回）について
- 報告事項 平成27年度前期事業報告及び決算報告について
〃 指定正味財産（寄附金）の公益目的事業への充当について
〃 定款第28条第4項に定める理事の職務の執行状況について
- (6) 日 時 平成28年2月12日
- 議 案 平成28年度事業計画及び収支予算について
- 報告事項 経営戦略及び中期経営計画について

(資料 1)

平成 27 年度 事業実績

1 公社主催事業

主催事業回数 114回、 延べ参加人員 16,214人

(1) 自然体験事業

実施回数 43回、延べ参加人員 1,562人

事業名	回数	人員	実施時期
間伐、植樹、下草刈りなど水源の森づくり	3	293	7,9,11月
親子で楽しむ森林学習	5	90	6~9月
野生生物・昆虫等観察会・標本づくり	10	287	7,8月
自然体験登山・トレッキング	16	451	6~12月,3月
星座教室、特別観望会	2	181	8,10月
農業、里山、山村体験	2	76	4,11月
森のコンサート	1	44	10月
スケッチ・写真撮影	4	140	10,1,2月
合計	43	1,562	

※ 野生生物・昆虫等観察会のうち、8回243人は青少年健全育成（おんたけこども村キャンプ）の参加者を対象に実施した。

(2) 青少年健全育成事業

実施回数 37回、延べ参加人員 4,238人

事業名	回数	人員	実施時期
おんたけこども村キャンプ	29	3,639	7~9月
おんたけこども村スターウォッチング	1	75	10月
おんたけこども村雪の学校(スキー・自然体験)	3	410	12,1,3月
親子自然体験登山・スノーハイキング	4	114	7,8,2,3月
合計	37	4,238	

(3) 健康増進支援事業

実施回数 34回、延べ参加人員 1,764人

事業名	回数	人員	実施時期
健康増進ウォーキング	11	920	9～11月
シニアスキー教室・健康増進スノーウォーク	19	732	12～3月
山菜・茸採り体験リフレッシュプラン	2	72	10月
山野草・薬草観察	2	40	9月
合計	34	1,764	

(4) 体験館等の運営

参加人員 8,650人

事業名	人員	実施時期
食の体験館	150	7月18日以降
木工・工芸体験館	65	7月18日以降
天文館	2,997	7月18日以降
クライミング	282	7月18日以降
間伐材を利用した木工体験出前講座	5,156	7月18日以降
合計	8,650	

2 公社支援事業

支援事業件数 598件 人員 9,396人

事業名	件数	人員	実施時期
野外活動・キャンプ指導・青少年健全育成	159	3,828	6～3月
環境保全・環境学習・体験学習	22	790	6～3月
登山・スキー・スノーシュー、スポーツ支援	285	2,570	6月から
自然観察（天文・地質・気象）・植物観察	23	431	6月から
森林浴・健康ウォーク	85	937	6～9月
絵画・写真・地域文化	24	840	6月から
合計	598	9,396	